



## 建設工事で発生した伐採木を有効利用

～ ベンチ・本棚 を地元の皆さまへ寄贈 ～

当社は、山形県西置賜郡小国町で玉川第二発電所（水力発電所、最大出力14,600kW）の建設を進めています。

発電所地点は山間部に位置しており、建設工事を開始するにあたっては敷地内に立つ多くの樹木を伐採する必要がありました。通常、伐採した樹木は廃棄物として処分されますが、廃棄する量をなるべく減らし、価値ある森林資源として有効に利用するため、地元の森林組合様の協力を得て、約1,000トンの伐採木を合板やパルプの原料として利用しました。



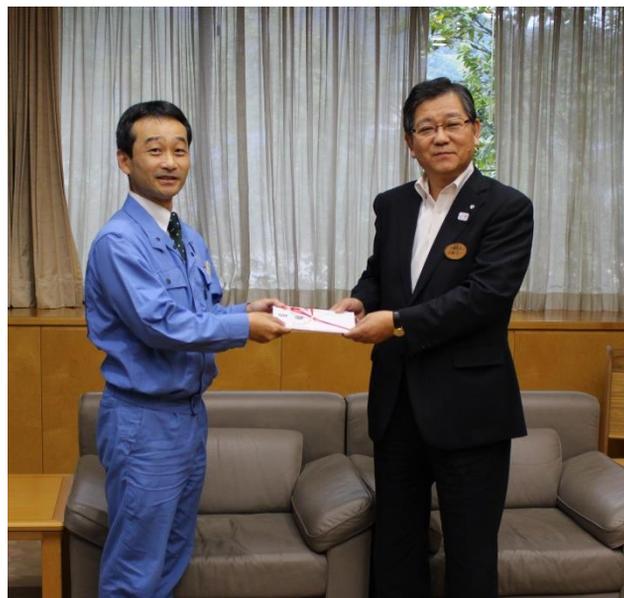
伐採木から製作したベンチと本棚

さらに、この伐採木を、発電所工事にご協力いただいている地元の皆さまのお役に立ててもらうことはできないかと考え、伐採木を原料として公園に置くベンチや集会所で使う本棚を製作し、日頃お世話になっている関係者の皆さまへ贈ることとしました。森林組合様と家具メーカー様の協力を得て作ったベンチと本棚は、受け取っていただいた皆さまから好評をいただき、現在、道の駅や公園、公民館に置かれて多くの方々にご利用いただいています。

発電所の建設工事や維持管理には、地元  
の皆さまのご協力が欠かせません。今回の  
伐採木有効利用のように、発電所の仕事を通  
じて地域の皆さまに喜んでいただき、発電  
所をより身近なものに感じてもらえるよ  
う、今後も取り組んでまいります。



樹木伐採の様子



建設所長から小国町長へ目録を手渡し